

未来を開く

長井市立長井北中学校

No45 令和3年10月4日

第2回さわやかあいさつ運動 —お忙しい中、ありがとうございました—

9月24日まで、第2回「さわやかあいさつ運動」が展開された。生徒の登下校の様子は、保護者の皆さんの目にはどのように映ったのか。集約を待ちたい。

PTA育成部が主催する今年度第2回目の「さわやかあいさつ運動」が、PTA全会員を対象に、子どもたちの健全育成の一環として行われました。

朝夕のお忙しい中ご協力いただき、本当にありがとうございました。この度の重点は次のとおりでした。



重点

- (1) あいさつ…「元気、笑顔、会釈、自分から」
- (2) ヘルメット着用と交通ルールの遵守(特に一列走行・一時停止)
- (3) 下校時のライト点灯

ご協力いただきました方々からの「声」(成果や課題等)については、今後、集約が済み次第、「北中だより」などでお伝えしたいと思います。

そして、これからも、生徒を取り巻く状況については、さまざまな活動とおして共に考えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

“熊”すぐそこに！！

秋本番とともに、熊の出没が懸念される時期となりました。

昨年は、民家や道路、川の近くまで来て、多くの方が不安を抱きました。

学校では、安全を最優先に考え、次のような指導を継続して行っています。ご家庭でもぜひ確認をお願いいたします。



- 熊を見つけたら、静かに遠ざかる。決して騒ぎ立てたり大声を出したりせず、刺激しない。
- 熊を見つけたら、近くの民家に避難したり、警察や学校に連絡する。
- 登下校の際は、なるべく複数で移動する。
- スクールバス利用の該当になっている生徒は、極力バスを利用する。

昨年は登下校の冬季バス利用期間を前倒したり、仕事帰りに立哨指導をお願いして安全確保を行いました。今後も状況に応じて、安全最優先に対応をいたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

夕暮れが早くなりました！

交通事故が多発する薄暮時。一人一人の自覚ある行動と、周囲からの「気をつけてな！」の声を受け止める心を持ちたい。

夕暮れが早くなってきました。そこで、この時期心配されるのが、登下校時の交通安全、特に下校時の安全確保です。生徒の事故防止・安全指導に関わって、学校でも次の点について指導していますが、ご家庭でも格段の声かけをよろしくお願いいたします。

□部活動等で下校時刻が遅くなった時は・・・
保護者への連絡と連携、一人で下校する場合の注意喚起 など

□体育や部活動での事故防止・・・
器具や用具等のこまめな点検、活動時・休憩時の確認と見届け
「家に帰るまでが部活動」という考え方での対応 など

□自転車の乗り方、交通ルールの遵守・・・
命を守ることが最優先、ルールを守る意識と態度、ヘルメットの着用と薄暮時のライト点灯 など

□熊、蜂等への注意喚起・・・
保護者や地域との情報の共有、鈴の携行 など

□自分で「判断」できること・・・
その場の雰囲気には流されない、「守るべきは、守る!」「ならぬものは、ならぬ!」を実行する勇気 など

心のとびら

創立40年
北中の軌跡
その3

長井北中学校
校歌
神保光太郎作詞
竹田一興作曲

一
山は呼ぶ 河は歌ってる
なつかしの花と緑よ
ああ きまじく あなたとわたり
今日もここに学ぼう 学んで行こう
われら われら 山形長井
長井北中学校 輝く輝く
愛する母校

二
晴れ渡る ふるやかな空
父と母 師の愛胸に
ああ きまじく あなたとわたり
ちがふあやせ 磨く磨く
われら われら 山形長井
長井北中学校 輝く輝く
愛する母校

三
たたくし、こころをかた
あわせの 未来を聞く
ああ きまじく あなたとわたり
誓いも 堅く進もう 進んで行こう
われら われら 山形長井
長井北中学校 輝く輝く
愛する母校
湖口 敬喜

「校歌の心」作詞者は語る—神保光太郎 氏—
※「長井北中の教育」より抜粋

「私が心がけていることは、できるだけその学校に行って、この目で見て、生徒の皆さんとお会いして話を聞いたり、先生のお話を聞いたりしてくるということです。それをもとにして詩を書くわけです。

長井北中学校に最初に来た時は、とにかく山、川、緑、花に囲まれたすばらしい土地ですね。それを歌詞にどう生かすかということが問題になったのです。ここ長井はいろんな山や川があり、あまりにも恵まれていて非常に迷いました。そこでそれを全て包むような表現をと苦心したところが次の一節です。

♪「山は呼ぶ、河は歌ってる、なつかしの花と緑よ」♪

すばらしい環境をこの一節に全部入れたつもりです。」(次号に続く)



ところで、学校では、PTA「さわやかあいさつ運動」と時期を同じくして、生徒会企画会と風紀委員会が主管する、【後期】「部活動対抗あいさつ運動」も生徒昇降口前で繰り広げられました。

「元気・笑顔・会釈・自分から」を重点として、厳正な審査を行いました。結果は下に記したとおりです。

あいさつは、生活とコミュニケーションの基本です。これからも、「自分から、いつでも、どこでも、誰にでも」あいさつを届けられるよう心がけていきましょう。



- ◇ 最優秀：女子ソフトテニス部
- ◇ 優秀：女子バレーボール部（2位）
吹奏楽部（3位）

＝歴代「最優秀賞」「優秀賞」部活動一覧＝